



Title	学術・研究活動及び学外活動報告 平成14年
Author(s)	長崎大学経済学部
Citation	長崎大学経済学部研究年報. vol.19, p.101-119; 2003
Issue Date	2003-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/25505">http://hdl.handle.net/10069/25505</a>
Right	

This document is downloaded at: 2019-04-23T20:49:36Z

# 長崎大学経済学部

## 学術・研究活動及び学外活動報告

### 平成14年

相原 基大

[学術・研究活動]

< 科研費 (採択のみ) >

・「地域におけるネットワークのイノベーション創出能力に関する実証研究」, 平成14年度-16年度 (3年間)。

< 辞書および総説 (学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等) >

・長崎新聞コラム欄「うず潮」, 平成13年9月～。

[学外活動]

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >

・長崎県産業人材確保対策会議委員, 平成14年度。

赤石 孝次

[学術・研究活動]

< 辞書および総説 (学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等) >

・「財政史 アメリカ」, 『大月金融辞典』, 大月書店, 2002年4月。

阿萬 弘行

[学術・研究活動]

< 論文 >

・「ストックオプションと株式所有権構造」, 『現代ファイナンス』 (MPTフォーラム・日本ファイナンス学会) No.11, 2002年3月。

・「株式市場と経営者インセンティブ」, 『日本経済研究』 (日本経済研究センター) No.45, 2002年6月。

今田 正

[学術・研究活動]

< 著書 >

・『新版 財務会計論』 (共著), 創誠社, 平成14年10月。

< 辞書及び総説 (学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等) >

・「母校: 教授の目」, 『東京瓊林』第121号, 平成14年6月。

[学外活動]

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会及び審議会の委員 >

・長崎市「し尿問題検討委員会」会長, 平成14年4月～。

・長崎県市町村職員共済組合監事, 平成13年12月～平成14年11月。

< 公開講座・市民講座 >

・長崎大学公開講座『現代経営』において「企業再編と会計問題-企業の合併と分割-」を担当, 平成14年6月21日, 長崎大学経済学部。

上野 清貴

[学術・研究活動]

## &lt;論文&gt;

- ・「購入時価会計の論理」,『長崎大学経済学部研究年報』第18巻,平成14年3月。
- ・「売却時価会計の論理」,『経営と経済』(長崎大学経済学会)第82巻第1号,平成14年6月。
- ・「現在価値会計の論理」,『経営と経済』(長崎大学経済学会)第82巻第2号,平成14年9月。
- ・「稼得経済的利益会計の論究」,『経営と経済』(長崎大学経済学会)第82巻第3号,平成14年12月。

## [学外活動]

## &lt;国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員&gt;

- ・税理士試験委員会出題委員,平成13年1月~平成15年12月。
- ・長崎県出資団体あり方検討委員会委員長,平成13年12月~平成15年3月。

## &lt;報告書(国,県,市町村,企業等からの依頼による)&gt;

- ・『県出資団体のあり方に関する提言』(共著),長崎県,平成15年1月。

内田 滋

## [学術・研究活動]

## &lt;著書&gt;

- ・『地域と向き合う大学を考える』(共著),財務省印刷局,2002年3月。
- ・『金融』(共編著),勁草書房,2002年9月。

## &lt;論文&gt;

- ・“On the Financial Policy Management of Capital Controls to Reduce Volatility of Capital Flows; Case Studies in Chile, Malaysia and Vietnam in 1990s”(共著),*The Annual Review of Southeast Asian Studies*, Vol.43, 2002年3月。
- ・「コーポレート・ガバナンスに関する経営経済学的考察」,『長崎大学経済学部研究年報』第18巻,2002年3月。
- ・「わが国の経済構造変化とフィナンシャル・マネジメントに関する制度論的一考察」,『経営と経済』第82巻第1号,2002年6月。
- ・「生活経済と地域社会に関する一考察—テンニースの所論とソーシャル・キャピタルへの視点を含めて—」,『経営と経済』第82巻第3号,2002年12月。

## &lt;学会発表&gt;

- ・「地域・企業文化と事業創造」,文化経済学会九州部会,2002年2月2日,平戸市北部公民館。
- ・“On Recent Trends in Life Insurance Industry”,金融構造研究会,2002年12月25日,地方銀行会館。

## [学外活動]

## &lt;学術雑誌の編集員としての活動&gt;

- ・『金融経済研究』編集専門委員,2002年11月~2004年10月。

## &lt;学会などにおける委員としての活動&gt;

- ・金融学会理事,2002年度~2005年度。
- ・生活経済学会理事,2001年度~2002年度。
- ・文化経済学会九州部会運営委員,2002年度。
- ・生活経済学会特別公開シンポジウム実行委員長,2002年度。

## &lt;国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員&gt;

- ・長崎市雇用問題審議会委員・会長,2001年度~2002年度。
- ・長崎商工会議所 TMO 協議会委員,2002年度。

## &lt;公開講座・市民講座&gt;

- ・『長崎大学公開講座「現代経営」構造改革下の企業の進路』において「地域とコーポレート・シティズンシップ」を担当,2002年7月19日,長崎大学経済学部。

鶴瀨 由己

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『茶の間の経済学』において「国民生活から見た日本経済」を担当，平成14年11月2日，長崎市北公民館。

Celia L. Umali

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Asian Telecommunications : Market Deregulation and Competition”, *International Journal of Management and Decision Making*, December 2002 issue.

<研究ノート>

- ・“Technology Transfer in Agribusiness”, *Annual Review of Southeast Asian Studies*, Vol.43, 2002.

<学術研究講演（大学，学会，研究機関等）>

- ・Special Lecture, “Implications of Telecom Deregulation in Asia”, Research Center for Development and Culture, Suzuka International University, Oct. 2002.

大倉 真人

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「生命保険募集におけるモラル・リスクの研究－事前審査にかかるインセンティブの観点からの検討－」, 『日本リスク研究学会誌』第13巻第2号，平成14年6月。
- ・「レビュー・アर्टィクルー保険市場における逆選択研究の展開－」, 『経営と経済』第82巻第2号，平成14年9月。
- ・「食品不正表示問題の経済学的分析」, 『日本リスク研究学会第15回研究発表会講演論文集』, 平成14年11月。
- ・「わが国官営簡易保険事業の民営化論に関する若干の考察」（共著）, 『国民経済雑誌』第186巻第6号，平成14年12月。
- ・「リスク細分型保険は本当に望ましいか?」, 『経営と経済』第82巻第3号，平成14年12月。

<講義ノート>

- ・「保険論」, 長崎大学ホームページ (<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/okura/>), 平成14年7月。

<ワーキング・ペーパー>

- ・“An Equilibrium Analysis of the Insurance Market with Vertical Differentiation,” Discussion Paper 2002・3, Graduate School of Business Administration, Kobe University, February, 2002.
- ・“Welfare Effect of Firm Size in Insurance Market”, Discussion Paper 2002・6, Graduate School of Business Administration, Kobe University, March, 2002.

<学術研究講演（大学，学会，研究機関等）>

- ・「損害防止努力インセンティブに関する一考察－主体均衡分析による検討－」, 保険学セミナー，平成14年1月，大阪府商工会館。
- ・「生命保険募集におけるモラル・リスクの研究－事前審査にかかるインセンティブの観点からの検討－」, 長崎大学経済学部第34回 Faculty Seminar, 平成14年5月，長崎大学経済学部。

<学会発表>

- ・「生命保険における危険分類について－大量性要件と同質性要件とのトレードオフ問題を中心として－」, 西日本理論経済学会，平成14年6月，福岡大学。
- ・「食品不正表示問題の経済学的分析」, 日本リスク研究学会，平成14年11月，京大会館。

岡田 裕正

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「インターネットを利用した任意開示についての一考察」, 『経営と経済』第82巻第1号, 2002年6月25日。

<研究ノート>

- ・「IT 社会における会計ディスクロージャー」, 『クレジット研究』第27号, 2002年3月。

<学会発表>

- ・「インターネットを利用した会計ディスクロージャー—任意開示を中心として—」, 日本管理会計学会第8回九州部会, 2002年7月27日, 九州大学経済学部。
- ・「資産負債アプローチの計算構造」, 日本会計研究学会第71回九州部会, 2002年12月21日, 中村学園大学流通科学部。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本会計研究学会九州部会, 長崎大学幹事, 平成12年4月～現在。

笠原 俊彦

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「M. ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(四)」, 『経営と経済』第81巻第4号, 2002年3月。
- ・「M. ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(五)」, 『経営と経済』第82巻第1号, 2002年6月。
- ・「M. ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(六)」, 『経営と経済』第82巻第2号, 2002年9月。
- ・「M. ヴェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(七)」, 『経営と経済』第82巻第3号, 2002年12月。

神園 健次

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“On a Variational Inequality Associated with a Stopping Game Combined with a Control” (共著), *Stochastics and Stochastics Reports*, Vol. 73, 2002.

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・「取引コストのある市場におけるヘッジングとポートフォリオ最適化問題について」, 科研費研究集会「計量経済・計量ファイナンスの諸問題」, 2002年1月7日, 慶應義塾大学経済学部。
- ・“Partial Hedging under Transaction Costs”, 科研費研究集会, 2002年9月11日, 一橋大学経済学部。

<学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む)>

- ・「原子力発電所価値評価における金融工学手法の適用」, 平成14年度民間等との共同研究, 財団法人電力中央研究所。

<学会発表>

- ・“Partial Hedging under Transaction Costs”, 5th Columbia-JAFEE Conference on the Mathematics of Finance, New York, 2002年4月5日。

川口 幸美

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「社外取締役とコーポレート・ガバナンス論の分析(下)」, 『月刊監査役』453号, 2002年1月。
- ・「監査委員会における取締役の法的責任(上)(下)」, 『月刊監査役』462号, 2002年8月・463号, 2002年9月。

<辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>

- ・「会社の情報開示」, 『ながさき経済』(長崎経済研究所)161号, 2002年5月。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市米穀流通委員会委員, ~2002年5月。

川村 雄介

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『図説アメリカの証券市場』(共著), 日本証券経済研究所, 平成14年5月。

<論文>

- ・「日本経済の課題と若干の提案」, 『財経詳報』, 平成14年1月15日号。

<辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>

- ・「一土諤諤」, 『金融財政事情』, 平成14年5月~連載中(5回~)。

<学術研究交流>

- ・「日本の社債市場の現状と展望に関する研究会」委員長, (財)資本市場研究会, 平成14年5月~12月。
- ・「証券経営問題研究会」委員, (財)日本証券経済研究所, 平成12年7月~。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・ASEAN+3「アジア債券市場構想」国内研究会座長, 平成15年2月~。
- ・国民生活金融公庫運営懇話会委員。
- ・ファイナンシャル・プランナーISO/TC222国内委員会委員, 同作業部会長。
- ・長崎県工業技術センター運営懇話会委員。
- ・福岡県市場活用住宅施策検討委員会委員。
- ・福岡県新金融システム審査会審査委員。
- ・NBC長崎放送(株)番組審議会委員。
- ・特定非営利活動法人, 投資と学習を普及・推進する会, 理事。
- ・(財)日本証券経済研究所, 客員研究員。
- ・(財)資本市場研究会, 社債発行研究会座長。

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「学ぶ力か, 学んだ力かー今, 本当に必要な基礎教育についてー」, 『長崎県高校進学担当者研修』, 平成14年6月19日, 長崎県立長崎東高等学校, 平成14年6月26日, 波佐見中学校(東彼杵郡波佐見町), 平成14年7月8日, 雲仙(長崎県小浜町)。
- ・「今, 何を学ばなければならないか」, 平成14年9月17日, 長崎県立長崎南高等学校, 平成14年10月30日, 長崎県立長崎北陽台高等学校。

<公開講座・市民講座>

- ・『輝く熟年大学』において「高齢化時代のかしこいお金とのつきあい方」を担当, 平成14年, 長崎市北公民館, 滑石公民館(長崎市)。
- ・『世界と日本の経済動向』において「高齢化とお金の安全保障」を担当, 2002年10月, 長崎大学経済学部。

Geoffrey C. Gunn

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Lingua e cultura na construçao de identidade de Timor-Leste,” *Camoës: Revista de Letras e Culturas Lusoponas*, (Lisbon) no. 14, Julho-Septembro, 2001, pp.14-25.
- ・“Islam: Brunei;” “Brunei Political System;” “East Timor profile,” in Levison, David and Karen Christensen, et.al, eds. *Encyclopedia of Modern Asia*, Charles Scribner & Sons, New York, 2002.

<論評>

- ・review of *Macau in Transition*, in *The International History Review*, Vol.XXIV, 4 December 2002.
- ・review of *Education in Contemporary Japan/The Logic of Japanese Politics/The Manchurian Myth*, in *Journal of Contemporary Asia*, Vol. 32, No.1, 2002, pp.131-137.

<学会発表>

- ・1st Workshop of the United Nations University Project Culture of Solidarity and Geo-Strategic Culture, United Nations House, Tokyo, 21-22 February 2002.
- ・“The Identity of Timor and its Civilizational Framing,” symposium organized by Centro Cultural Portugues em Dili, East Timor, 1 March 2002.
- ・“Peace-building and Reconstruction Assistance after the Conflict in the East Timor Context,” workshop organized by the Japan Center for Area Studies, National Museum of Ethnology, Osaka, 19 March, 2002.
- ・2<sup>nd</sup> Workshop of the United Nations University Project “Culture of Solidarity and Geo-strategic Culture,” Perth, Australia, 25-26 August 2002.

[学外活動]

<国際交流への貢献（各種イベント等での貢献）>

- ・Invited observer, UNITAR-IPS (Singapore)-JIIA Conference on “UNTAET: Debriefing and Lessons,” 16-18 September 2002, United Nations University, Tokyo.
- ・Invited guest to Democratic Republic of Timor-Leste, independence celebrations, Dili, 15 May, 2002.

菅家 正瑞

[学術・研究活動]

<辞書および総説（学外の新聞、雑誌、学内報における解説、レポート、エッセイ等）>

- ・「経済学部創立100周年に向けて－経済学部と一層の連携を－」, 『瓊林』第100号, 平成14年5月。
- ・「満足化」, 『経営学史事典』, 経営学史学会, 平成14年5月。

[学外活動]

<国、県、市町村、商工会議所、その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎労働局 地方職業安定審議会, 会長, 平成13年1月～平成15年1月。
- ・長崎労働局 長崎地方労働審議会, 会長, 平成13年10月～平成15年3月。
- ・長崎県 長崎県職業能力開発審議会, 委員, 平成12年11月～平成16年10月。
- ・長崎市教育委員会 長崎市片淵中学校跡地活用検討協議会, 会長, 平成14年8月～平成15年3月。
- ・長崎マレーシア協会, 理事, 平成14年4月～平成16年3月。

木原 隆司

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『はじめての金融』（共著）, 東洋経済新報社, 2002年7月4日。

<論文>

- ・「国際公共財援助の理論と実際」, 『経営と経済』第82巻2号, 2002年9月25日。

<ワーキング・ペーパー>

- ・「開発援助のための国際協調－国際公共財援助の視点から」, 財務省財務総合政策研究所, 2002年5月1日。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・財務省財務総合政策研究所, 特別研究官, 2001年9月～。

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・『『経済政策』って何だ』, 長崎県立西陵高校『大学セミナー』, 2002年6月15日。
- ・「開発援助と日本」, 長崎県立長崎シーボルト大学『現代世界と平和』講座, 2002年11月15日。

<公開講座・市民講座>

- ・『茶の間の経済学』において「国際経済交渉の現場から」を担当, 2002年5月25日, 長崎市北公民館。

小山 久美子

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「19世紀後半のアメリカ関税史」, 『経営と経済』第81巻第4号, 2002年3月。
- ・「20世紀初頭のアメリカ関税史」, 『経営と経済』第82巻第2号, 2002年9月。

是枝 正啓

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『ミクロ経済分析』(共著), 九州大学出版会, 平成14年4月。

<研究ノート>

- ・「製品差別がある場合の Balanced Temptation Equilibrium に関する一考察」, 『経営と経済』(長崎大学経済学会)第82巻第2号, 平成14年9月。

<ワーキング・ペーパー>

- ・「製品差別が存在するモデルにおける Balanced Temptation Equilibrium の存在と一意性」, 長崎大学経済学部, 平成14年6月。

[学外活動]

<学会における委員としての活動>

- ・西日本理論経済学会幹事, 平成14年4月～平成15年3月。

式見 拓仙

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Large deviations for kernel-type empirical distributions”, *Statistics & Probability Letters*, Vol. 59, 2002.
- ・「一様有界名確率変数列のランダム和及び停止時間に関する大偏差原理」, 『一橋論叢』第127巻, 2002年。

実積 寿也

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「効率化インセンティブと統合的な政策補助スキームの検討－DEAを用いたケーブルテレビネットワークの効率性計測－」(共著), 『公益事業研究』53巻3号, 2002年。
- ・「わが国企業および産業におけるIT投資の効果発現メカニズム－日本型シナリオの特徴の探索－」(共著), 『地域学研究』32巻1号, 2002年。



<科研費（採択のみ）>

- ・「情報化投資効果の発現メカニズムの理論的解明と予測可能性に関する研究」（共同），平成14年度～平成17年度。

<学会発表>

- ・「e-コマースが交通利用に及ぼす影響に関する実証分析」（共同），日本交通学会，2002年10月19日，城西大学（埼玉県坂戸市）。
- ・“IT Investment in Japan: A Look at the Factors Leading to Underperformance”（共同），ITS 14th Biennial Conference，2002年8月19日，韓国ソウル市。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・生活経済学会，特別公開シンポジウム実行委員会委員，1年間。

柴多 一雄

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『福岡県史 通史編 福岡藩(二)』（編著），福岡県，平成14年3月。

<辞書及び総説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等）>

- ・「情報化のなかの経済学部分館」，『長崎大学図書館ニュース』86号，平成14年8月。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・社会経済史学会評議員，平成14年4月～。

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・福岡県史編さん等検討委員会委員，平成14年4月～。
- ・「旧三奈木黒田家庭園」復原検討委員会委員，平成14年4月～。

杉原 敏夫

[学術・研究活動]

<論文>

・「経済・経営時系列分析における季節変動成分の分析と予測」, 『経営と経済』82巻1号, 2002年6月。

<ワーキング・ペーパー>

・“Adaptive Demand-Forecasting Approach based on Principal Components Time-Series”, Faculty of Economics Nagasaki University, No.2002-04, 2002.

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

・日本ロジスティックスシステム学会理事, ~2004年。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎市行政改革審議会会長, ~2004年。

<公開講座・市民講座>

・『現代経営』において「ロジスティックスシステムの現代的課題」を担当, 2002年6月, 長崎大学経済学部。

須齋 正幸

[学術・研究活動]

<論文>

・「為替レートのボラティリティ, 曜日効果, 市場効果」, 『金融構造研究』第24号, 2002。

・「株価ボラティリティと情報の関係: ティックデータによる検証」(共著), 『証券経済学会年報』第37号, 2002。

・「為替レートのボラティリティと情報変数: 超高頻度観測データによる検証」(共著), 『経営と経済』第82巻, 2002。

<論評>

・「ABCをどう活用するか」, 『近代セールス』2002年7月1日号。

<学術研究交流>

・「外国為替市場のミクロ構造に関する研究」(共同研究1), 文部科学省統計数理研究所, 2002。

<学会発表>

・「為替レートのボラティリティ, 市場効果, 曜日効果」, 新潟大学経済学部研究会, 2002年3月, 新潟大学。

・「為替レートのボラティリティ, 市場効果, 曜日効果」, 日本金融学会西日本部会, 2002年3月, 北九州大学。

・「株価ボラティリティと情報: ティックデータによる検証」(共同), 日本金融学会, 2002年11月, 関西学院大学。

[学外活動]

<学会などにおける委員として活動>

・日本金融学会, プログラム委員, 2002年10月~2003年5月。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・財務省財務行政モニター, 2002年10月~2004年3月。

<講演会(社会的要請に基づく)>

・「長崎大学におけるインターンシップ: 全学教育・経済学部の例を中心に」, 長崎県大学ガイダンスセミ

ナー実施委員会・大学入試センター『長崎県大学ガイダンスセミナー』, 2002年10月, 長崎大学。

<公開講座・市民講座>

・『情報を読み取る目を育てる』において「IT と地域振興：長崎県での IT 活用事例」を担当, 2002年11月, 和歌山県古座町。

鈴木 孝直

[学術・研究活動]

<翻訳>

・「平成14年版英対訳法人税法」(共著), 租税資料館, 平成14年12月。

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

・“International Tax Avoidance and Evasion”, OECD, 平成14年6月, 於 OECD Multilateral Tax Centre in Ankara.

・「開発途上国における租税制度整備」, JICA・税務大学校, 平成14年5月, 於長崎大学。

[学外活動]

<講演会(社会的要請に基づく)>

・「最近の経済事情と税」, 長崎県税務連絡協議会連合会・長崎県地域振興部市町村課『平成14年度市町村税務職員初任者研修会』, 平成14年8月, 於長崎県農協会館。

・「文書回答制度の意義と今後の課題」, 長崎総合法律経済事務所『平成14年11月例会』, 平成14年11月, 於長崎総合法律経済事務所。

<公開講座・市民講座>

・『茶の間の経済学』において「税の基礎知識」を担当, 平成14年10月, 於長崎市北公民館。

鈴木 斉

[学術・研究活動]

<辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>

・「メールサーバを作る: qmail 編」, 『BSD でセキュアサーバを作ろう』, (株)アスキーAPC 書籍編集部, 2002年9月。

[学外活動]

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

・第6回長崎ピースフェローシップ, 実行委員長, 2002年8月8日～8月11日, 長崎市内。

高岡 伸行

[学術・研究活動]

<論文>

・「環境経営論の構成と展開」, 手塚・小山・上田編著『経営学再入門』, 同友館, 2002年1月。

・「ステイクホルダーモデルの企業観とその論理構造」, 『経済科学』Vol.49 No.4, 2002年3月25日。

<学会発表>

・「ステイクホルダーモデルのリフレクション」, 経営行動研究学会九州研究部会第4回九州研究部会, 2002年3月31日, 熊本学園大学。

高木 かおる

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎市個人情報保護・情報公開審査会委員, 平成14年4月1日～平成17年3月31日。

・長崎県固定資産評価審議会委員, 平成14年12月1日～平成16年11月30日。

・長崎県卸売市場審議会委員, 平成14年7月1日～平成16年6月30日。

- ・長崎県地方港湾審議会委員，平成13年3月20日～平成15年3月19日。
- ・長崎県建築審査会委員，平成13年8月1日～平成15年7月31日。

高倉 泰夫

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・「生産諸関係の物象化と資本蓄積」『経営と経済』第82巻第3号，2002年12月。
- ・「新しい物象化と経済理論－利子生み資本との関連で－」『九州経済学会年報』第40集，2002年12月。

高島 忠

〔学術・研究活動〕

<学術研究交流（学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む）>

- ・「経済・産業政策に関する日仏比較研究」，論文ドラフト交換，相互検討・議論，追加資料収集，研究内容の発展・展開，Professeur Christophe Deissenberg, Centre d'Economie et de Finances Internationales, Faculté des Sciences Economiques, Université de la Méditerranée, Aix-Marseille II, France, 2002年10月5日～13日。

高橋 義郎

〔学術・研究活動〕

<著書>

- ・『現代経営と知的財産権』，創成社，2002年5月。

〔学外活動〕

<公開講座・市民講座>

- ・『現代経営：構造改革下の企業の進路』において「現代経営と知的財産権」を担当，2002年7月12日，長崎大学経済学部大講義室。

田口 信夫

〔学外活動〕

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市都市計画審議会委員，平成14年5月31日～平成16年5月30日。

<公開講座・市民講座>

- ・長崎大学公開講座『世界と日本の経済動向』において「戦後日本経済の歩み」を担当，平成14年10月。
- ・長崎市公民館講座『茶の間の経済学』において「経済の仕組みから日本経済の動向を考える」を担当，平成14年11月。

立山 柚彦

〔学術・研究活動〕

<学会発表>

- ・「インド社会と公企業部門改革」，比較経営学会第27回大会統一論題報告，2002年5月25日，法政大学富士見校舎。

田中 謙

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・「諫早湾干拓事業の法的評価と今後の方向性」，『長崎大学経済学部研究年報』18巻，2002年3月。

## &lt;書評&gt;

・「大塚直 = 北村喜宣編『環境法学の挑戦』[淡路剛久教授・阿部泰隆教授還暦記念]，日本評論社，2002年]，『INDUST』17巻6号[通巻176号]，2002年6月。

## &lt;辞書および論説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等）&gt;

・「合併処理浄化槽」「児島湖環境保全条例」「浄化槽法」「瀬戸内海環境保全特別措置法」「日本環境認証機構」「認証制度」「非特定汚染源」「琵琶湖総合開発特別措置法」「富栄養化の防止に関する条例」「富栄養化（問題）」の用語説明を担当，淡路剛久代表編集『環境法辞典』，有斐閣，2002年5月。

・「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法（PCB法）」「土壌汚染対策法」「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」「使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）」の解説[阿部泰隆教授と共同執筆]，阿部泰隆 = 淡路剛久編『環境法[第2版追補版]』，有斐閣，2002年10月。

## &lt;学会報告&gt;

・「PRTR法における環境情報の統制」，環境法政策学会，2002年6月8日，東京経済大学。

田村 耕一

## [学術・研究活動]

## &lt;学会発表&gt;

・「中央教育審議会中間報告における法科大学院」，長崎法律研究会，2002年6月8日，長崎市民会館。

・「不動産留置権・先取特権」，日本土地法学会中国支部研究会，2002年9月7日，広島大学。

・「非典型担保」，日本土地法学会中国支部研究会，2002年11月17日，広島大学。

・「不動産留置権・先取特権」，日本土地法学会中国支部研究会・広島大学法学部後援会共催シンポジウム「不動産担保法制」，2002年12月7日，広島大学。

・「非典型担保」，日本土地法学会中国支部研究会・広島大学法学部後援会共催シンポジウム「不動産担保法制」，2002年12月7日，広島大学。

津留崎 和義

## [学術・研究活動]

## &lt;学会発表&gt;

・“Stochastic Dynamic Programming with Range and Ratio Criteria,” The 9th Bellman Continuum : International Workshop on Uncertain Systems and Soft Computing, July 2002, Beijing (China).

仲井 幹也

## [学術・研究活動]

## &lt;学会発表&gt;

・「ゲオルク・ハイムの詩『戦争Ⅰ』と『戦争Ⅱ』の比較とハイムの戦争観」，日本独文学会西日本支部第54回研究発表会，2002年11月30日，熊本大学。

成田 真樹子

## [学術・研究活動]

## &lt;学会発表&gt;

・「スペイン地域発展の動向 - マドリッドとカタルーニャを事例として」，九州経済学会第52回大会，平成14年12月，於熊本学園大学。

## [学外活動]

## &lt;公開講座・市民講座&gt;

・長崎市公民館講座『茶の間の経済学』において「地域から見たスペイン」を担当，平成14年10月，於長崎市北公民館。

Dipak Basu

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“New Round of Negotiations in the World Trade Organization and the Developing Countries”, *Keiei To Keizai*, Vol 82, no 2, Sept, 2002, Japan.
- ・“China’s Entry to the World Trade Organization and its Effects”, *Keiei To Keizai*, Vol 82, no 3, December, 2002, Japan.

<辞書および総説（学外の新聞、雑誌、学内報における解説、レポート、エッセイ等）>

- ・“After Doha: Factors Behind low Cost of China’s Exports”, *The Statesman*, 11,12 January, 2002.
- ・“Lost Childhood: Child Labour and W.T.O.”, *The Statesman*, 4,5 February, 2002.
- ・“Doha Conference and the Developing Countries”, *Economic Times*, 4 January, 2002.
- ・“Patented Confusion, WTO New Rounds”, *The Telegraph*, 30 May, 2002.
- ・“Reform of the Labour Market”, *The Statesman*, 12th and 13th June, 2002.
- ・“Western Media and the Facts on Kashmir”, *The Statesman*, 1st and 2nd July, 2002.
- ・“Rail and Coal: Bitter lessons from privatisation in UK”, *The Statesman*, 17 August, 2002.
- ・“Threat to Iraq: An American strategy on Oil”, *The Statesman*, 1st and 2nd November, 2002.
- ・“When Power Corrupts”, *The Telegraph*, 27 November, 2002.
- ・“Debates on Disinvestments”, *The Statesman*, 23, 24 December, 2002.

<学術研究交流（学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む）>

- ・ Visiting Professor, Bond University, Gold Coast, Australia, May to August 2002.

深浦 厚之

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「理と利」, 『SFI 会報』(日本資産流動化研究所), 平成14年2月。
- ・「証券化による PFI 資金調達について」, 『資産流動化研究』(日本資産流動化研究所), 第8号。
- ・「情報の高度化と証券化」, 『SFI 会報』(日本資産流動化研究所), 平成14年12月。

<論評>

- ・「PFI と地域社会」, 『ながさき経済』(長崎経済研究所), 平成14年7月。

<学会発表>

- ・「証券化スキームのガバナンス構造－オリジネータ破綻の一解釈－」, 日本金融学会西日本部会, 平成14年12月14日, 熊本学園大学。

[学外活動]

<国、県、市町村、商工会議所、その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・金融庁金融コングロマリット研究会, オブザーバー, 平成14年3月～。

<報告書（国、県、市町村、企業等からの依頼による）>

- ・「GtoB における電子商取引の在り方に関する調査研究」, 経済産業省・富士総合研究所, 平成14年3月。

<講演会（社会的要請に基づく）>

- ・「最近の金融事情について－デフレーションとはなにか－」, 長崎中央郵便局金融経済講演会, 平成14年2月, 長崎市。
- ・「デフレーションをどう理解するか」, 経済同友会6月例会, 平成14年6月, 長崎市。

福川 裕徳

[学術・研究活動]

<研究ノート>

- ・「財務諸表の信頼性－会計における意味と監査における意味－」, 『経営と経済』第82巻第3号, 2002年

12月。

<科研費（採択のみ）>

・「公認会計士監査，監査役監査および内部監査の関係と相互影響」若手研究(B)，2002-2004.

福澤 勝彦

〔学術・研究活動〕

<著書>

・『ミクロ経済分析』（共著），勁草書房，2002年4月。

<科研費（採択のみ）>

・「外国為替ディーラーの雇用形態が為替レートのボラティリティーに与える影響についての研究」（共同），平成13年～16年。

〔学外活動〕

<国，県，市町村，商工会議所，その他の各機関での委員会および審議会の委員>

・第31期長崎県地方労働委員会（公益委員），平成13年11月1日～平成15年10月31日。

藤田 渉

〔学術・研究活動〕

<論文>

・「石油精製部門を対象とする環境・エネルギー分析用産業連関表のノンサーベイ・アプローチ」，『経営と経済』（長崎大学経済学会）第82巻第2号，平成14年6月。

<科研費>

・「国際的技術スピルオーバーの環境負荷抑制効果と技術政策に関する理論的・実証的研究」，平成13年度～15年度。

<ワーキング・ペーパー>

・「貿易を経由した二酸化炭素排出量抑制技術の国際的拡散」，DISCUSSION PAPER SERIES（長崎大学経済学部）No.2002-07，平成14年12月。

<学会発表>

・「医療制度改革と言語聴覚療法部門の今後について」（共同），第3回日本語聴覚士協会学術集会，平成14年5月，於ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）。

〔学外活動〕

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎市水道事業運営懇話会委員，平成14年4月～平成15年3月。

・長崎市政策評価システム委員会副委員長，平成14年4月～平成15年3月。

・中核市サミット2002 in 長崎（中核市連絡会長崎市サミット），全体会議コーディネータ，平成14年11月。

<講演会（社会的要請に基づく）>

・『中核市サミット2002 in 長崎』に参加して」，十八銀行思案橋支店『思友会例会』，平成14年12月，長崎市。

藤野 哲也

〔学術・研究活動〕

<著書>

・『国際経営論への招待』（共著），有斐閣，2002年2月。

<論文>

・「グローバル組織構造における<製品軸-地域軸>について-欧州地域統括会社の実態調査から-」，『組織科学』（白桃書房）第35巻第4号，2002年6月。

・「東南アジア進出企業の現状と課題」，『経営者』（日本経営者団体連盟）vol.56 No.660，2002年1月。

- ・「グローバリゼーションの進展と日本の企業システム」、『ながさき経済』（長崎経済研究所）No.509, 2002年3月。
- <報告書>
- ・『経営のグローバル化における連結業績評価システム導入に関する実態調査研究』, 科学研究費補助金成果報告書, 2002年3月。
- <学術研究講演（大学, 学会, 研究機関等）>
- ・“Globalization and Japanese Corporations as Reluctant Multinationals”, Asian Development Bank Institute, March 4, 2002, Tokyo.
- <学会発表>
- ・「東南アジア進出欧米多国籍企業・地元企業の組織・人事システム」, 日本経営教育学会, 2002年10月26日, 京都産業大学。
- [学外活動]
- <学会などにおける委員としての活動>
- ・国際ビジネス研究学会, 幹事, 関西支部委員, 2000年11月～。
- ・世界経営協議会, 学界・研究協力者, 1999年4月～。
- ・国際経営研究会, 研究協力者, 1999年6月～。
- <国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・ジェトロ, 地域経済活性化研究会, 座長, 1997年8月～。
- ・長崎県農業協同組合中央会, 戦略プラン推進会議, 委員, 2002年6月～。
- <国際交流への貢献（各種イベント等での貢献）>
- ・日中韓都市間フォーラム2002, コーディネーター, 2002年11月16日, 長崎。
- ・第7回トーマス・グラバー奨学生事業, 日本の経営に関するレクチャー, 2002年9月18日, 長崎。
- <公開講座・市民講座>
- ・『現代経営：構造改革下の企業の進路』において「日本市場の魅力と外資系企業の参入」を担当, 2002年6月28日, 長崎大学。

藤村 丞

[学術・研究活動]

- <論文>
- ・“Toward the Establishment of pascal Digital Archive” (共著), *Fukuoka University, SCIENCE REPORTS*, Vol.32 No.1, March, 2002.
- ・「パスカルデータベースシステム(Ⅱ)」(共著), 『情報処理学会 情報研報』Vol.2002 No.52, 2002年5月。
- ・“The Pascal Digital Archive” (共著), *Literary and Linguistic Computing*, Oxford University Press, Now Printing, April 2002.
- <学会発表>
- ・「パスカルデータベースシステム(Ⅱ)」(共同), 情報処理学会第54回人文科学とコンピュータ研究会, 2002年5月31日, 福井大学。

古山 正明

[学術・研究活動]

- <著書>
- ・『現代商法』[第七版] (共著), 中央経済社, 2002年。
- [学外活動]
- <国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎県弁護士会懲戒委員会予備委員。



政岡 豊

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Economic Reform in China : Its Impact on Hong Kong Economy and Japanese Banking Operations in Hong Kong” (共著), 『東南アジア研究年報』(長崎大学) 第43集, 平成14年3月。

<ワーキング・ペーパー>

- ・“Key Elements of Private Infrastructure Financing in the Asia-Pacific Region”, Faculty of Economics, Nagasaki University.

[学外活動]

<国際交流への貢献>

- ・長崎大学特別講演において国際機関から講師招聘・通訳, 平成14年6月, 於長崎大学。

松永 明

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県経営品質表彰判定委員会, 委員 (財団法人長崎県産業振興財団), 平成14年11月~平成15年3月。
- ・九州地域中小企業金融プログラム検討会, 委員 (財団法人九州経済調査会), 平成14年11月~平成15年3月。
- ・ミャンマー進出日系中小企業調査研究委員会, 委員 (NPO法人ミャンマー総合研究所), 平成14年9月~平成15年3月。
- ・ビジネス支援図書館検討委員会, 委員 (株式会社テクノリサーチ研究所), 平成14年9月~平成15年3月。

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「図書館とビジネス支援」, 長崎県立図書館「図書館実務研修会」, 平成14年12月2日, 長崎県立図書館。

丸山 真純

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「異文化コミュニケーション論を再考する: 『文化ナショナリズム』を越えて」, 『Human Communication Studies』30, 2002年6月。

<翻訳>

- ・「『地球都市』の出現とコミュニケーション」(共訳), 『多文化社会とコミュニケーション』(伊佐雅子(監修)), 三修社, 2002年3月。

<学会発表>

- ・「知的営為としての異文化認識・理解: 知, 教育, 権力, 研究者の関係を中心として」, 日本コミュニケーション学会, 2002年6月15日, 英知大学。
- ・“The Ainu of Japan: National Identity and Ethnicity”, International Communication Association, 2002年7月17日, Seoul Hilton Hotel (Seoul, Korea).
- ・“Globalization, Biocultural Diversity, and Identity: Why do we need diversity?”, International Communication Association, 2002年7月19日, Seoul Hilton Hotel (Seoul, Korea).

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『Kyushu Communication Studies』, 編集委員長, 1年。

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本コミュニケーション学会九州支部, 運営委員会, 紀要編集担当, 1年。

丸山 幸宏

[学術・研究活動]

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・ Strong representation of a discrete decision process by a bitone sequential process, DP workshop (Department of Mathematics & Statistics, The University of Melbourne), February 2002, Melbourne.
- ・ Strong representation theorems for bitone sequential decision processes, The Second Japanese-Sino Optimization Meeting, September 2002, Kyoto (国際会議).
- ・ 「両調逐次決定過程の部分クラスについて」, 日本オペレーションズリサーチ学会研究部会「不確実性下のモデル分析とその応用」, 2002年7月, 九州大学経済学部。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 日本ロジスティックシステム学会理事。

三原 泰熙

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・ 長崎地方最低賃金審議会委員, 平成14年4月1日～平成15年3月31日。
- ・ 長崎地方労働審議会委員, 平成13年11月1日～平成15年3月31日。
- ・ 人材育成長崎地域協議会委員, 平成14年12月12日～平成16年2月29日。

<公開講座・市民講座>

- ・ 『現代経営：構造改革下の企業の進路』において「構造変化と賃金改革」を担当, 平成14年7月5日, 長崎大学経済学部。

村田 省三

[学術・研究活動]

<著書>

- ・ 『ミクロ経済分析』(共著), 九州大学出版会, 2002年4月。

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 西日本理論経済学会幹事。

村田 嘉弘

[学術・研究活動]

<ワーキング・ペーパー>

- ・ “Painlevé systems reduced from Anti-Self-Dual Yang-Mills equations”, DISCUSSION PAPER SERIES 2002-05, Faculty of Economics, Nagasaki University, 2002.

村山 洋介

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ 「コンツェルン差引条項の実体法上の効力」, 『比較法研究』63号, 2002年。

<学会発表>

- ・ 「合意相殺の第三者対抗力」, 日本私法学会, 平成14年10月13日, 一橋大学。
- ・ 「使用収益権－賃料の処分と物上代位－」, 日本土地法学会中国支部シンポジウム「不動産担保法制」, 平成14年12月7日, 広島大学。

本西 泰三

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Modifications of the Balassa-Samuelson Model: The Effects of Balanced Growth and Capital Accumulation”, *Journal of the Japanese and International Economies*, 16(1) 2002.
- ・「円ドル市場における需給要因について：ポルトフォリオバランスモデルに基づく分析」, 斎藤誠・柳川範之編著『流動性の経済学』, 東洋経済新報社, 2002。

<科研費（採択のみ）>

- ・「金融市場の不完全性がマクロ経済に与える影響に関する実証分析」, 平成14～16年度。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎市北公民館秋の講座・お茶の間の経済学』において「アジア経済と日本：アジア開発銀行における研究を終えて」を担当, 2002年10月26日, 長崎市北公民館。

森永 春乃

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・「留学生に学んでほしいこと, 就職後も展望して－留学生専門教育教官の役割－」, 第7回留学生教育学会, 2002年12月1日, 東京学芸大学。

森保 洋

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「為替レートのボラティリティと情報変数：超高頻度観測データによる検証」(須斎正幸との共著), 『経営と経済』, 第82巻, 2002年6月。
- ・「株価ボラティリティと情報の関係－ティックデータによる検証－」(須斎正幸との共著), 『証券経済学会年報』, 第37号, 2002年5月。

<学会発表>

- ・「株価のボラティリティと情報－東京市場の個別株価のティックデータによる検証－」(須斎正幸との共同発表), 日本金融学会, 2002年11月23日, 関西学院大学。
- ・「東京株式市場の価格形成－時系列分析による検証－」, 日本証券経済学会, 2002年11月4日, 北星学園大学。

[学外活動]

<講演会（社会的要請に基づく）>

- ・「情報化社会と統計データの利活用」, 長崎県『長崎県地方統計職員業務研修』, 2002年3月14日, 長崎県勤労福祉会館。

山口 純哉

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市TMOチャレンジショップ実行委員会, 委員長, 2002年6月～2003年3月。
- ・長崎市観光施設等市民利用促進検討会議, 委員長, 2002年8月～2003年3月。

<講演会（社会的要請に基づく）>

- ・長崎県「まちや人を元気にするコミュニティ・ビジネス・フォーラム」コーディネーター, 2002年8月22日, 福江文化会館。
- ・長崎県「まちや人を元気にするコミュニティ・ビジネス・フォーラム」コーディネーター, 2002年8月

- 29日, 美津島町文化会館。
- ・長崎県「まちや人を元気にするコミュニティ・ビジネス・フォーラム」コーディネーター, 2002年9月6日, 森山町中央公民館。
  - ・長崎県「まちや人を元気にするコミュニティ・ビジネス・フォーラム」コーディネーター, 2002年10月24日, 壱岐文化ホール。
  - ・長崎県「子供の人権を守るフォーラム:子育てすこやかトーク」パネラー, 2002年12月7日, 佐世保パールシーセンター。
  - ・長崎県「子供の人権を守るフォーラム:子育てすこやかトーク」パネラー, 2002年12月8日, 長崎ブリックホール。
- <公開講座・市民講座>
- ・長崎市立北公民館春の講座において「茶の間の経済学:長崎のまちづくり」を担当, 2002年6月1日, 長崎市立北公民館。

山下 耕治

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「地方交付税制度に潜むインセンティブ効果-フロンティア費用関数によるソフトな予算制約問題の検証-」(共著), 『フィナンシャル・レビュー』第61号, 2002年2月。

<論評>

- ・「地方財政改革の方向性とその対策」, 『ながさき経済』(長崎経済研究所)第156号, 2002年10月。

吉田 省三

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・シンポジウム「構造不況下に協同組合は協同戦略をどう構築するか」第4報告「雇用問題と協同組合の役割」, 日本協同組合学会, 2002年10月5日, 弘前大学。
- ・シンポジウム「協同と連帯-21世紀における民主主義法学の射程」第5報告「協同組合の可能性」, 民主主義科学者協会法律部会, 2002年11月17日, 専修大学。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・民主主義科学者協会法律部会, 理事, 2002年11月~2005年10月。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県弁護士会懲戒委員会委員, 2002年3月~2004年3月。
- ・生活協同組合ララコープ理事, 2001年5月~2003年6月。
- ・福祉生活協同組合いきいきコープ, 設立発起人会代表, 2002年2月~2002年10月。

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎市北公民館市民講座』において「福祉社会と協同組合」を担当, 2002年6月8日, 長崎市北公民館。